

広島原爆による放射性降下物等実態検証に 係る関係者協議会

HiSoF Hiroshima Study group
on Re-construction of Local Fallout
from A-bomb in 1945

広島市では、平成22年度（2010年度）から、広島原爆による放射性降下物等の実態を解明することを目的として、地球科学、放射線物理学、原子力工学などの様々な分野の専門家で構成する協議会を設置し、最新の研究結果やデータの収集に取り組んできた。

年月日	概要
平成22年(2010年) 10月13日	第1回会議 ・会議運営方法、事業計画案等の協議 ・気象シミュレーション実験(国際共同実験)の実施に必要な初期条件、検証データを収集・作成し論文集にまとめることを決定
平成22年(2010年) 12月15日	第2回会議 ・初期条件、検証データ作成に係る方向性等を協議(風の場合、放射能分布、可燃物、火災状況等)
平成23年(2011年) 2月7日	第3回会議 ・初期条件、検証データ作成の進捗状況について意見交換(風の場合、きのこ雲の高さ、木材量、熱生成量等)
平成23年(2011年) 10月26日	第4回会議 ・気象シミュレーション実験実施の可否を検討 ◎<u>原爆投下日前後の詳細な風向、風力等の気象データが整っていない</u> ◎<u>情報提供を募ったが、有用な情報が寄せられていない</u>
平成24年(2012年) 10月17日	第5回会議 ◎<u>この時点での気象シミュレーションの実施は見送るが、引き続き、科学的知見の収集に努めていくことを決定</u>

【HiSoFのホームページ】

研究成果は、HiSoFのウェブサイトにおいて、英語論文を中心に日本語でも掲載している。
(英語での情報発信が中心です。詳細は英語ページをご覧ください。)

【目的】

広島上空で爆発した原爆による放射性降下物と「黒い雨」の実態検証に関する気象シミュレーション(国際共同実験(相互研究))に向けて、国内外の研究者にモデル計算のための初期値と検証のためのデータベースを提供する。

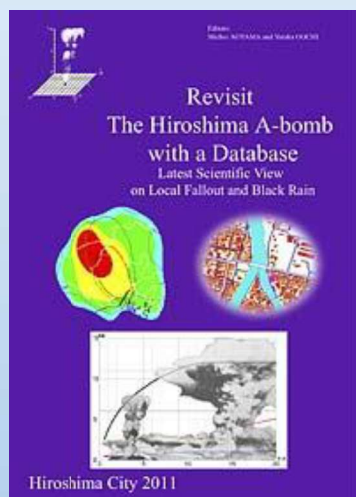
日本語サイトトップ <http://www.hisof.jp/2000japanese.html>

英語サイトトップ <http://www.hisof.jp/index.html>

出版物の紹介ページ <http://www.hisof.jp/0100publication.html>

個別論文がダウンロードできるページ <http://www.hisof.jp/0300database.html>

研究成果の公表



Vol1: 平成23年(2011年)7月

[日本語要約版] <http://www.hisof.jp/01publication/0103jsummary.pdf>

Vol2: 平成25年(2013年)3月

[日本語要約版] <http://www.hisof.jp/01publication/0104jsummary.pdf>

